

環境経営レポート 子どもたちの未来のために

2018年度報告



↑ 2018/7/25(水)
木曾川南派川にて 水生生物調査

国土交通省河川事務所とNPO長良川
環境レンジャー協会の協力を実施。

私たちは、地域と地球の
環境に配慮した事業者です



®環境省

エコアクション21

認証番号 0000072

もくじ

1. はじめに	p 2
2. 一宮生協がめざすもの	p 3
3. 結果・評価・見直し	
① CO ₂ 排出量	p 4.5
② 水資源	p 6.7
③ 廃棄物	p 6.7
* 商品サービス、危機管理・事業継続	p 8.9
4 環境関連法規等の遵守	p 10
5. 代表者による全体評価・見直し	p 10
一宮生協とは	p 11
エコライフは、環境と家計にやさしい	p 12



一宮生活協同組合

☎ 0586-45-3232

2019/6/10 発行

1. はじめに

このレポートは、エコアクション21ガイドラインにもとづき、一宮生協の環境経営について報告するものです。
「持続可能」「共生」をキーワードに、私たちは事業やくらしのあり方を見直し取り組んでいます。

Think Globally, Act Locally

子どもたちの未来のために！

エコアクション21は、環境省が策定し推進している環境経営システムです。

PDCAを回して、取り組んでいます。

- ① CO₂の削減
- ② 水資源の管理・削減
- ③ 廃棄物の管理・削減
- ④ グリーン購入の推進
- ⑤ 環境配慮商品・サービスの提供

2018年度の取り組み結果、2019年度どんな取り組みをしようとしているか報告します。

みんなで出資してつくっている生活協同組合。事業だけでなく、組合員の家庭での取り組みも呼びかけています。未来の担い手、子ども達への環境教育にも力をいれています。

* PDCA = Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検)、Act(改善)

* CO₂ = 二酸化炭素

- 対象期間
- 対象事業所
- 活動内容

2018年4月～2019年3月

本部センター、稲沢センター、東部センター

今伊勢ステーション、藤ヶ丘ステーション、津島ステーション、せんい団地ステーション

食品及び生活用品等の無店舗での購買事業

2. 一宮生協がめざすもの

環境方針・環境目標

組合員みんなの願いを織り込んで21世紀ビジョンを策定。

このビジョン実現をめざし、環境方針を定め、組合員と職員が協同して取り組んでいます。

[21世紀ビジョン]

4 環境・生態系維持への配慮をします。

(第58回通常総代会 1999年)

- 1 農業や化学肥料の大量使用は、生態系や水質に大きな影響を与えてきました。私たちは環境保全循環型の農畜産者との連携を確立し、環境や資源を守っていきます。
- 2 正しい情報をもとに、環境保全の活動を広げていきます。
- 3 容器・包装・紙ゴミのリサイクル活動に参加し、それを生かした環境商品の利用をします。
- 4 私達は、地球温暖化防止のために、エネルギーの浪費をなくします。
- 5 私達は、資源の浪費をなくし、ゴミの減量化も考慮して環境にやさしい暮らしを追求していきます。



[環境方針]

1. 商品

環境に配慮した商品の選択・開発と提供を継続実施します。

2. 事業

協同の事業を環境保全型・低炭素型の事業に転換していきます。

3. 暮らし

暮らしの見直しを進め、エコライフを実行します。

4. 子ども

未来を担う子どもたちに環境教育を行います。

5. 地域

地域の行政・市民・事業者と協同して、持続可能な環境循環型社会の実現を目指します。

6. 法令の遵守

環境関連の法令、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。

理事長 (代表理事) 船橋拓行

2004/5/10 制定

2014/5/19 改訂

中期目標

(~2018年度実績、2019年度~計画)

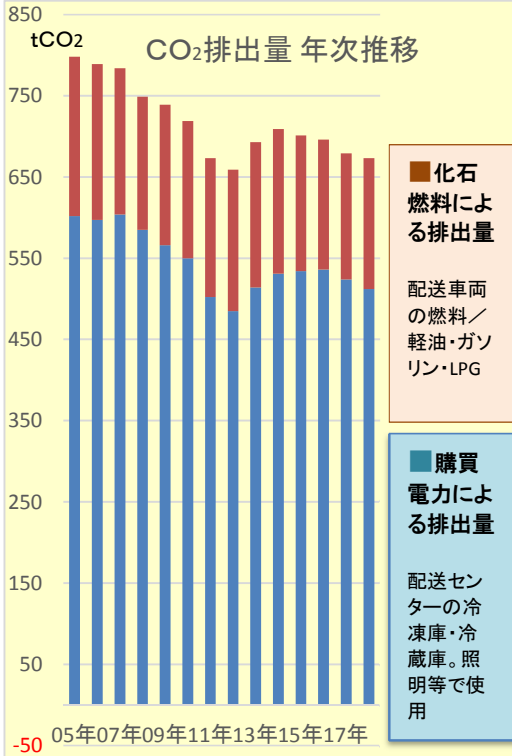
CO ₂ 削減			水資源		食品廃棄物	
排出量(t)	2005年度比	計画	使用量m ³		再生利用等実施率	計画
2005年	800					
2017年	679	85%	2017年	1,770	2017年	80%
2018年	673	84%	2018年	1,785	2018年	54%
2019年	666	83%	2019年	1,767	2019年	80%
2020年	640	80%	2020年	使用・運用管理を徹底		
2030年	400	50%	2030年	雨水利用	2020年	80%
2030年には、CO ₂ 排出50%減(2005年比)をめざす					ゼロ・エミッションの実現	

*「化学物質」は使用していません。

3. 結果・評価・見直し 環境活動計画 PDCA

① CO₂排出量

排出量を前年より 0.8 % 削減できました。
2018年夏は、異常な高温日が続き、熱中症防止、品温管理の徹底に努めました。そのため夏季の電力使用量は増加しましたが、省エネ機器への代替を進めた結果、全体では削減という結果となりました。



[事業所別 CO₂排出量]

前年比	全体	本部	稲沢	東部
総排出量	99.2%	105.7%	98.6%	95.4%
購買電力	97.8%	106.3%	96.8%	90.0%
化石燃料	103.9%	104.3%	108.1%	104.9%

2005年度比	全体	本部	稲沢	東部
総排出量	84.4%	90.5%	90.9%	66.0%

「命の危険」を感じるような高温日が続き、冷凍・冷蔵庫、エアコンがフル回転した。

稲沢センター・東部センターは、冷凍機器を省エネ型に転換したことが効果的だった。

配送車両を「LPGの幌車」から「新型ディーゼルのパネル車」への転換を推進。品温管理・衛生面で大きな改善になる。

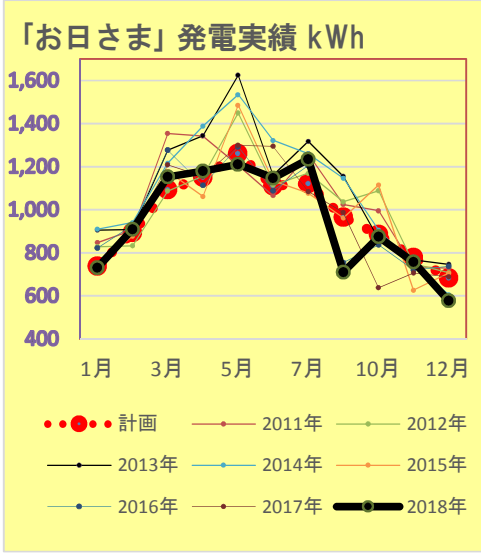
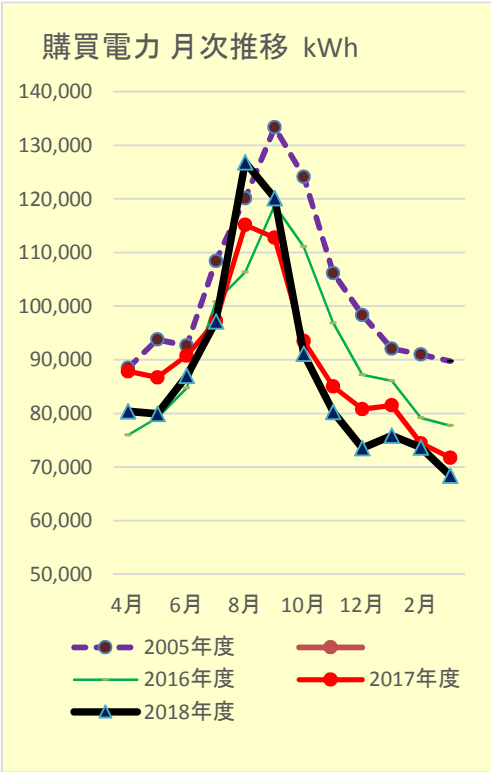


2018年度実績 CO₂排出量

2015年度中部電力(株)二酸化炭素排出係数 0.486

2018年度	目標	実績	取り組んだ事	実施主体	評価・見直し		
2005年度比減%	17%減	15.6%減	■購買電力抑制 ・施設・設備の低炭素化 ・節電の徹底 ・省エネセンター提案、検討	事業部 全部署	○ 購買電力による排出量は、前年比 2.2 % 減となりました。 高温日が続き、購買電力量が増加。排出量の増加が危惧されましたが、稲沢センター、東部センターでの機器の転換が功をそうし、削減となりました。 「ウォームビズ」の呼びかけ等、全役職員に節電を徹底した。		
前年比 減%	2%減	0.8% 減			■配送車両、化石燃料の抑制 ・エコ運転＝交通安全の徹底 ・配送コースの見直し ・配送車両、パネル車への転換 ・イレギュラー配送の抑制	事業部 物流	▲ 化石燃料による排出量前年比 3.9 % 増となりました。 熱中症防止のため、エアコンの使用を推奨。結果として燃料消費増となりました。 パネル車への転換は、品温管理の徹底では効果を発揮しました。
排出量 t-CO ₂	665	673			■太陽光発電「お日さま発電」 ・発電効率を高める	総務	▲ 発電実績 年間 11,513.5 kWh 天候不順により苦戦、稼働開始以来最低。
			■フロン排出抑制法、対応	総務	○ 法の主旨を理解し要請事項を実施 管理態勢・手順を整備		

お日さま発電所、2009年12月に記念事業として設立された。生活センター屋上に88枚のパネルで11kWhの発電能力がある。



施設の老朽化が進んでいます。事業連帯のあり方を見直し、物流施設の刷新を図ります。

夏場に購買電力量が一気に増加します。「最大電力量」をいかに抑えるかが課題です。



2019年度 目標・活動計画 CO₂排出量

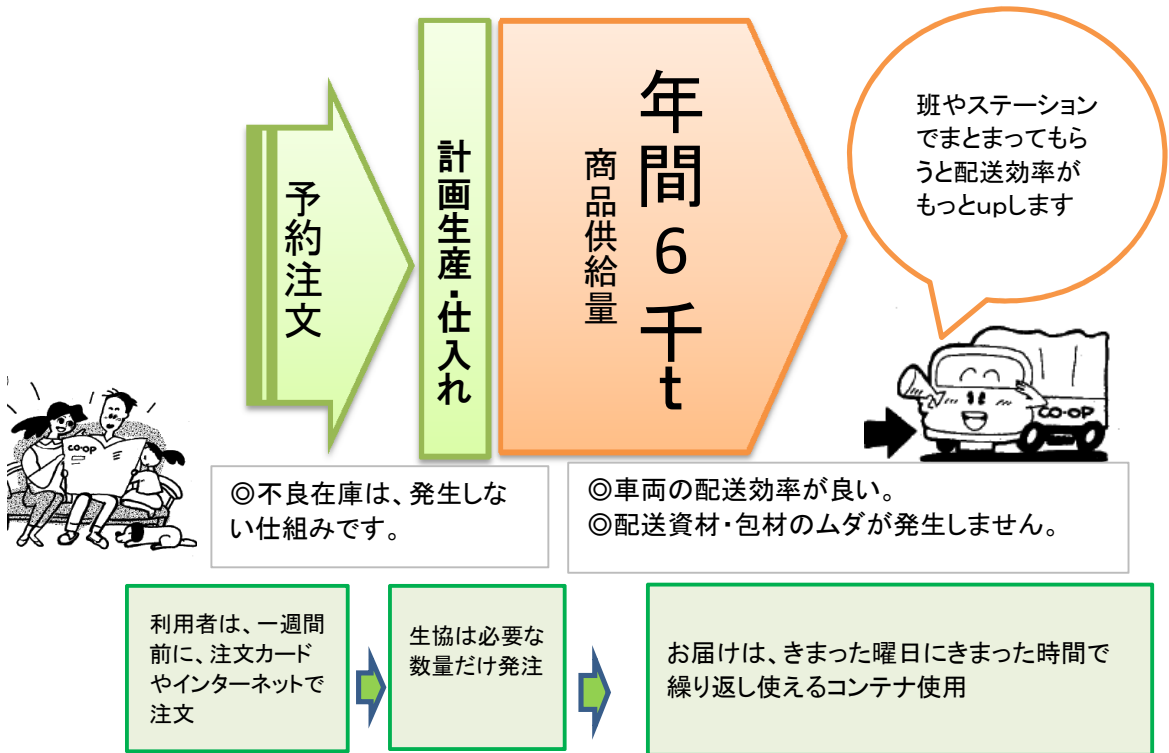
2019年度	目標	計画 取り組む事		実施主体		
		実施項目	上期		下期	
2005年度比	17%減	■購買電力抑制 ・ 機器・設備の省エネ化・低炭素化 稲沢センター、冷凍機。照明のLED化推進 ・ 節電の徹底 ・ 電力購入先の選択、調査・検討			総務	
前年比減%	1%減					全部署
排出量 t-CO ₂	666					総務
		■配送車両、化石燃料の抑制 ・ エコ運転＝交通安全の徹底 ・ 「5日配送」体制実施 ・ デポ、バックアップ体制の見直し ・ イレギュラー配送の抑制			事業部	
					事業部	
		■太陽光発電「お日さま発電所」 ・ 発電効率を高める			総務	
		■フロン排出抑制 ・ 簡易点検・記録、徹底			総務	

中期計画 CO₂排出量

	中期目標・計画	
	2020年	2030年
2005年度比	20%減	50%減
排出量 t-CO ₂	640	400
機器・施設の省エネ・低炭素化		
物流の見直し		
再生可能エネルギーの購入・自家発電		

② 水資源
③ 廃棄物

年間約6千tの供給で、発生する食品廃棄物は、2.6tとごくわずか。
共同購入は、資源をムダにしない環境負荷の小さい優れた購買システムです。



[2018年度実績 ② 水資源] (目標・実績数値は前年比%)

2018年度	目標	実績	取り組んだ事	実施主体	評価・見直し
(前年比)	99%	101%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の徹底 ・ トイレに節水の呼びかけ掲示 ・ 漏水調査。部外者の盗水対策 	全部署	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初、東部センターでの使用量増。施設の老朽化にともなう漏水、部外者による盗水の危惧があり対策をこじした。結果、例年なみの使用量におちついた。
排出量 m ³	1,767	1,785			

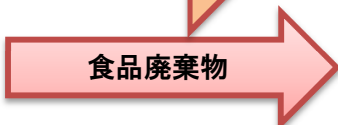
[2018年度実績 ③ 廃棄物] (目標・実績数値は前年比%)

2018年度	目標	実績	取り組んだ事	実施主体	評価・見直し
食品廃棄物再生利用等実施率	80%	53.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品廃棄物のバイオセンターへの処理委託 ・ 循環型資源回収の呼びかけ 	物流	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 委託先のバイオセンターの都合で、再生利用できない期間が発生、結果として再生利用率を下げた結果となった。 ▲ 紙類の回収は増加。牛乳パックの回収量は、減少。プラスチック、ビニールの国際的な資源循環に問題が生じ、これらは焼却処理されることになった。
(基準実施率)	54%			事業部	
循環型資源回収(t)	263	253	・ 不良・破損・端数等の有価処理	総務	

共同購入は、
エコライフその
ものです。

牛乳パックや商
品案内・カタログ
類は、配送時に
回収しています。

ビニール、プラス
チック類の扱い、
課題です！



2.6 t 発生

農産品不良
破損・端数・期限切れ等

段ボール類 77.8t
商品案内等カタログ類 172.1t
牛乳パック 1.7t
発泡スチロール (2018年度実績) 1.5t

バイオセンターへ処理委託
たい肥化
有価処理

再生利用量 1.4t
廃棄物としての処分量 1.2t

再生利用等実施率
(食品廃棄物)

年度	基準率	実績
2013年度	47%	54%
2014年度	49%	50%
2015年度	51%	52%
2016年度	52%	80%
2017年度	53%	79%
2018年度	54%	54%
2019年度	55%	

*基準率=該年度の
基準実施率

[2019年度目標・計画 ② 水資源] (目標・実績数値は前年比%)

2019年度	目標	計画・取り組む事		実施 主体	
		実施項目	上期		下期
(前年比)	99%	<ul style="list-style-type: none"> 節水の徹底 トイレ使用時の「2度流し」改善の呼びかけ。 施設の点検(異常値発生時、早急な原因探査) 雨水利用を検討 			全部署 総務
排出量 m ³	1,767				

[2019年度目標・計画 ③ 廃棄物] (目標・実績数値は前年比%)

2019年度	目標	計画・取り組む事		実施 主体	
		実施項目	上期		下期
食品廃棄物再生利用等実施率	80%	<ul style="list-style-type: none"> バイオセンターとの連絡をみつにし、再生利用がとぎれることがないようにする。 農産セットセンターでの不良品発生を抑制 			総務 物流
基準実施率	55%				
循環型資源回収(t)		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会に「牛乳パック」「商品案内」の回収を呼びかける 			事業部

*** 商品・サービス**
*** 危機管理・事業継続**

「自然を感じる心を育みましょう」と環境教育に力を入れています。
 行政・地域の諸団体と共同して推進していきます。



↑ 2018/12/15 第60回市民くらしの講座
 津島市民文化会館にて

津島市の食品安全条例の精神を活かそうと市役所、消費者団体と協力して講座を開催



↑ 2018/7/25 水生生物調査 木曾川にて

国土交通省河川事務所、NPO長良川環境レンジャー協会の協力をえて開催

[* 商品サービス]

2018年度	取り組んだ事	実施主体	評価・見直し
商品 グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 環境商品の普及 フェアトレード商品の普及 産直生産者との交流促進 グリーン購入適合商品の購入 	商品部 商品部 推進室 総務	<ul style="list-style-type: none"> 継続 〃 〃 〃
エコライフの提案	<ul style="list-style-type: none"> フリーマーケット開催(5/13) 	推進室 事業部	<ul style="list-style-type: none"> 雨天により中止
食育・環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 水生生物調査(7/25) こめこめクラブ 田植え(5/19) 生育観察(7/7) 稲刈り(9/15) お日さま発電所教室(8/2) 生協まつり(3/9) 冒険キッズ ぐりーんりんぐ発行 津島市 市民くらしの講座 	推進室 推進室 環境委員会 全部署 推進室 総務 総務	<ul style="list-style-type: none"> 行政、地域の諸団体、生産者との共同での取り組みは評価できる。継続し共同の輪をさらに広げたい。 春「たまねぎ」夏「トマト」秋「さといも」冬「ネギ」 第60回「知って得する栄養と安全の知識 レトルト、冷凍食品等の上手な活用法」

推進室-組合員活動推進室

[* 危機管理・事業継続]

2018年度	取り組んだ事	実施主体	評価・見直し
火災対応	<ul style="list-style-type: none"> 点検・訓練 	総務	<ul style="list-style-type: none"> 年度末時、部署ごとの点検・訓練にとどまる。年間スケジュールの中での、全員参加の訓練実施を。
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 対応手順・「BCPマニュアル」策定 	総務 事業部	



← 春号
じゃがいも

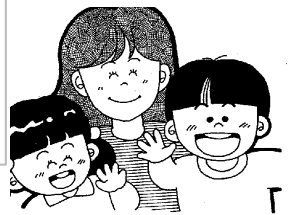


← 夏号
なす



← 冬号
だいこん

「ぐりーんりんぐ」は、食育推進、地域農業振興をめざし行政、事業者、教育機関と生協が共同して年4回発行しています。一宮市内の小学1、2、3年生に配布しています。



[* 商品サービス]

2019年度	計画・取り組む事			実施主体	
	実施項目	上期	下期		
商品 グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 環境商品の普及 フェアトレード商品の普及 産直生産者との交流促進 グリーン購入適合商品の購入 			商品部	
					商品部 推進室 総務
エコライフの提案	<ul style="list-style-type: none"> フリーマーケット開催 	9/7 (予定)		推進室 事業部	
食育・環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 水生生物調査 冒険キッズ ぐりーんりんぐ、発行 津島市 市民くらしの講座 			推進室	
					推進室
					総務
					総務

[* 危機管理・事業継続]

2019年度	計画・取り組む事			実施主体
	実施項目	上期	下期	
火災対応	<ul style="list-style-type: none"> 点検・訓練 年間スケジュールに組み込む 			総務 全部署
自然災害		<ul style="list-style-type: none"> 対応手順・「BCPマニュアル」見直し 		

4. 環境関連法規等の遵守

過去3年間、環境関連法規への違反、関係諸機関等からの指摘等はありませんでした。

食品リサイクル法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、フロン排出抑制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、浄化槽法、騒音規制法、振動規制等を遵守しています。

5. 代表者による全体評価・見直し

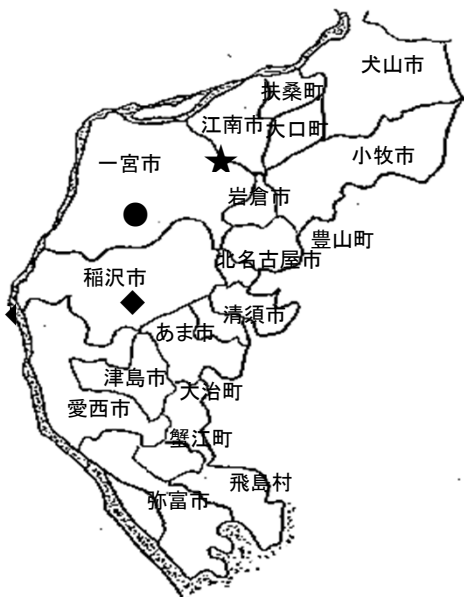
- 1 2018年度は、CO₂の排出量を前年に引き続き削減することができました。
異常高温日が続き、商品の品質・品温の管理の徹底、熱中症事故の発生防止に心がけました。結果として使用電力、燃料の増加はやむおえないと判断しました。
車両の使用燃料は増加しましたが、購買電力については、抑制することができました。稲沢センター、東部センターの冷凍機器を省エネ型に転換したことが功をそうしました。
- 2 2019年度、配送日を5日制に移行します。(現行 4日制) これにより施設・車両の稼働率を高めると同時に、職員不足の解消、配送ポイントの適正化をめざします。
配送車両についても、荷台が「幌」の車両から、アルミ「パネル」車両に全面転換し、衛生・品温管理の徹底につとめます。
これにともない、LPG車を全廃し、新型ディーゼル、小型ガソリン車に切り換えます。
- 3 CO₂削減のために、機器・施設の省エネ化、低炭素化を推進します。
冷凍・冷蔵機器の転換、照明のLED化を順次進めていきます。
設備の老朽化によるトラブルが発生しています。事業連帯のあり方を見直し、施設の抜本的な再配置、改修に取り組みます。
- 4 環境方針は、これを堅持します。環境目標、環境活動計画については、ここ数年の電力改革の動向を見極め、見直しを行っていきます。環境経営システムについてはこれを堅持します。
- 5 エコアクション21認証事業所になって14年を経過しました。
全事業所入り口に認証マークを掲示しました。全ての車両にも認証マークを掲示し、「環境に配慮した事業者」として自覚し、地域に貢献できるよう努めてまいります。
- 6 SDGs (国連 持続可能な開発目標) 実現に向け、地域生協としてこの西尾張地域で組合員のみなさんと共に取り組んでいきます。



2019年 5月 23日
代表理事 船橋拓行

一宮生活協同組合とは

- 西尾張の生活者が、出資・利用・運営している生活協同組合です。
- 共同購入事業により、食材を中心に組合員のくらしをサポートしています。



【概要】

- 本部所在地 一宮市末広2丁目19番1号
- 理事長 船橋拓行
- 組合員数 25,640 人
- 供給高 32億2万円
- 出資金 8億6,581万円
- 従業員数 104人
- 展開エリア 一宮市、稲沢市、清須市、北名古屋市、西春日井郡津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡江南市、小牧市、丹羽郡、犬山市、岩倉市、春日井市
- 事業所 3事業所、4ステーション 延べ床面積 4,890㎡
 - 本部センター 一宮市末広2丁目19番1号
 - ◆稲沢センター 稲沢市大矢町高松45番地の1
 - ★東部センター 一宮市千秋町加茂字五坊野58-2

2018 年度 推進体制

代表者 船橋拓行	理事長（代表理事）
環境管理責任者 三谷雅昭	理事 管理部部長
EA21委員 小林昌夫	専務理事
尾崎貴紀	事業部長
山内日出雄	物流課課長
加藤勝啓	事業部第1ブロック長
新藤亮一	事業部第2ブロック長
小川義勝	事業部第3ブロック長
EA21事務局 大村昌宏	参事

【沿革】

1949年に、当地方繊維産業を中心とした勤労者のための福利厚生事業（職域生協）として設立。

70年代半ばに経営危機に陥るが「生協の灯を消すな」「安心安全な食生活を」と再建・再生。

現在、みんなの願いを織り込んだ21世紀ビジョンの実現をめざし邁進中。

【現在の共同購入事業】

生協組合員が、週1回のサイクルで予約注文・配達を行う無店舗購買事業及びくらしの保障、共済事業。

取り扱い商品の基本は、「安全安心」「環境への配慮」「適正価格」。

エコライフは

(環境＋家計＋健康)にgood！

"もったいない精神"
発揮中！

電気の契約アン
ペアーを小さくし
て節電中！

食材のきれはして
スープを作って一
石二鳥。

外出は、徒
歩・自転車。
遠出はバス
や電車
で…。



災害への備
えも大切。
水・食料の備
蓄は、普段使
いの食品を多
めに購入して
おき順番に消
費、補充を繰
り返す。「ロー
リングストック
法」が便利。

子ども達にどんな地球環境を残せるかは、私たち大人の責任

でも今のままだと大変、「負の遺産」ばかり増えていく。

国連は **SDGs (持続可能な開発目標)** を決定し各国が取り組みを開始しています。

キーワードは「持続可能」。2030年までに実現する17の目標(ゴール)が掲げられています。

貧困・衛生・教育・気候変動対策…世界が今かかえている問題を一つ一つ解決していくために国、自治体、事業者での取り組みが期待されています。

私たち市民がすぐに出来る行動があります。環境負荷を減らした暮らし方、エコライフです。

エコライフは、環境にも、家計にも、健康にも good 家族で話し合って今日から取り組もう！



一宮生活協同組合

一宮市末広2丁目19番1号 ☎0586-45-3232 <http://ichinomiya.coop/>